

6章．計画の実現化へ向けて

(1) パートナーシップの形成

みどりの基本計画を進めるにあたっては、市民・事業者・NPO・行政等がパートナーシップを形成し、それぞれの主体が担うべき役割と立場を理解して、協働しながら長期的な視点で施策を推進することが必要である。

1) 市民の役割

市民は、所有あるいは借用する土地・建物の緑化に取り組むとともに、公園や道路、河川等での緑化活動や清掃・美化活動等の維持管理への参加が求められる。

また、地域・学校・職場等でのボランティア活動に積極的に参加し、呼びかけることにより、市民一人ひとりのみどりに対する意識を相互に高めていく役割を担う。

例えば...

- ・住宅の接道部、庭やベランダ、屋上・壁面の緑化等、みどりを増やし育てる。
- ・事業者・NPO・行政等と協働し、公園・道路・河川等の緑化活動や維持管理を行う。
- ・みどりに関するイベント等に参加し、みどりや環境に対する意識や知識を構築する。

2) 事業者の役割

事業者は、地域社会の一員として、事務所、商業施設及び工場等での率先した緑化等、環境に配慮した取り組みを進める役割を担う。

また、地域住民や行政等と協働による公共の場での緑化活動や清掃・美化活動を実施する等、積極的な社会貢献活動が求められる。

例えば...

- ・事業所の接道部、ベランダ、屋上・壁面の緑化等、みどりを増やし育てる。
- ・市民・NPO・行政等と協働し、公園・道路・河川等の緑化活動や維持管理を行う。
- ・従業員のみどりや環境に対する意識や知識を構築する。

3) NPO、専門家、研究機関等の役割

NPO、専門家、研究機関等は、市民や事業者及び行政等と連携してみどりに関する先導的な調査・研究や情報収集に取り組み、施策へ反映させるとともに、住民に対する専門的なアドバイス等を行うことが求められる。

また、福祉や教育等の様々な分野との連携により、多角的にみどりづくりを進める役割を担う。



例えば...

- ・生物の生態系や生息・生育環境の調査等、みどりや環境に関するデータを構築する。
- ・学校や自治会等と協力し、子ども達や地域住民に対して、みどりや環境に関する教育やアドバイス等を行う。

4) 行政の役割

行政は、みどりづくりの意識を持ち自ら先頭に立って行動する役割がある。さらに、市民や事業者等のみどりに対する意識を高めるため、みどりに触れあえる機会やみどりに関する情報の収集・提供等に取り組むとともに、自主的なみどりのまちづくり活動に対する支援や仕組み、体制づくりを進める役割を担う。

また、より効率的・効果的なみどりの施策の実行のため、うるま市庁内の関係部署との連携・調整をはじめ、国・県や隣接市町村との広域的な連携・調整といった、行政間での協力体制の確立が求められる。

例えば...

- ・公共施設の接道部、ベランダ、屋上・壁面の緑化等、みどりを増やし育てる。
- ・市民・事業者・NPO等と協働し、公園・道路・河川等の緑化活動や維持管理を行う。
- ・みどりに関するイベント等を開催し、市民や事業者等の意識や知識を高めていく。

5) 計画の推進体制

みどりの基本計画は、みどり審議会の適宜・適切な運営を図りながら、上位関連計画の具体的な取り組みと連携し、施策を進めていく。また、みどりの基本計画は長期的な計画なので、社会情勢の変化等、必要に応じて適宜見直しを行う。見直しを行う場合は、市民や事業者等の意見を反映させながら進めるものとする。

みどりの基本計画の周知

市民や事業者等がみどりの基本計画について、より身近なものとして捉えられるよう、ホームページや広報等を活用し、幅広く周知を行う。

みどりの基本計画に位置づけられたみどりや環境に関する個別施策の実施段階においては、説明会やワークショップ等を展開し、市民等の積極的な参加を促す。

実施計画等の作成

本計画で示した個別の各施策を、より実効性が高く効果的に展開していくためには、個々の施策の事業主体・事業手法・事業費等の内容について十分な検証を深め、施策の優先順位を踏まえて年次毎の施策展開を明らかにした実施計画等の作成が必要である。



各施策について、これまでの取り組みや課題を踏まえ、関係する施策と体系的な連携を図りながら、実現に向けた取り組みを整理していく。

財源の確保

公園や街路樹等の整備にかかる費用、それらの維持管理費等、みどりの保全・整備・育成には多大な経費を要する。そのため、民間の寄付金等を活用したみどり基金の創設を検討する等、財源の確保に努めていくことが必要である。

うるま市が主体となって進める事業について、国や県等の補助制度を積極的に活用するとともに、地域ボランティア等の住民参加型の維持管理活動を支援するため、各種補助制度の情報収集・提供に努める。

(2) 基本計画の進行管理

みどりの将来像『水とみどりが輝き 自然の息吹と歴史の薫りを感じる うるおいのまち』の実現に向けて、3つの基本方針から展開される具体的な施策を実施し、みどりの基本計画の効果的な進行管理を進めていく。また、各具体施策の進捗状況の管理や目標の達成状況の確認を実施するため、計画(Plan)、実践(Do)、点検・評価(Check)、見直し・改善(Action)を順次行っていく「PDCAサイクル」を継続的に繰り返していく。

なお、みどりの基本計画の進行管理にあたっては、市民・事業者・NPO・行政等がそれぞれの立場で協働しながら進めることが必要である。

PDCAサイクルによる進行管理のイメージ

